



船旅・島旅・小豆島

訪れるたび、深まる島



Tourism Action Plan

船旅島旅小豆島

訪れるたび、深まる島



観光事業の推進により
持続可能な島づくりの中心的役割を務める



観光により消費される島ではなく、
観光により**持続できる島**を目指す



土庄町 岡野能之町長より



両町が一つになって策定した本ビジョンにより、小豆島・豊島が「選ばれる観光地」となり、住民、来訪者そして地域全体が将来にわたって幸福となることを念願します。

小豆島町 大江正彦町長より



小豆島の新たな観光の道標となる「観光ビジョン」。人口減少など抱える課題は山積していますが、裾野の広い観光産業を中心に、「島は1つ」を合言葉に、「持続可能な島づくり」を目指します。

船旅島旅小豆島

訪れるたび、深まる島

小豆島の観光におけるミッション - 使命 -

観光事業の推進により持続可能な島づくりの中心的役割を務める

小豆島観光協会が正式DMOとなり、日本版持続可能な観光ガイドライン (JSTS-D) に基づき取り組む

小豆島の観光におけるビジョン - 願望 -

観光により消費される島ではなく、観光により持続できる島を目指す

小豆島の観光におけるバリュー - 価値 -

- 離島を形成する **景観美** (青い海と緑の山々のバランス)
- 離島に息づく **生活文化** (伝統と革新／深化と新化)

基本戦略の中心に据えるべき差別化のポイント
離島の利点を活かす ⇄ 離島の不便を減らす



今後5か年で取り組む**基本戦略**

A サステナブルな観光 を推進する。



B 国内市場拡大の観点から **関西圏** からの誘客促進を図る。

C 観光における需要と供給の観点から **冬期** の誘客促進を図る。

D インバウンド需要拡大の観点から **受入れ体制** の強化を図る。

E 映画・アニメの聖地的観点から **フィルムツーリズム** の強化を図る。



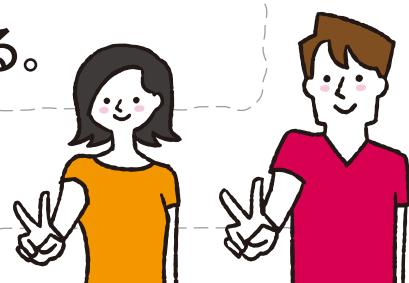
F 一次産業と伝統産業の観点から **フードツーリズム** の強化を図る。

G 島の地形・景観の観点から **スポーツツーリズム** の強化を図る。

H 小豆島ならではの **体験コンテンツ** の強化を図る。

I 二次交通対策の観点から **次世代モビリティ** の導入を図る。

J 島の遊休施設 活用の観点から民間投資の促進を図る。



基本戦略に基づくアクションプラン

A サステナブルな観光 を推進する。

1

GSTC ブロンズを取得し、
国内外にサステナブル観光先進地として認知してもらう。



2

サステナブル観光モデル地域として、教育旅行のほか、
視察ツアーやユニバーサルツーリズムの受入体制を整える。

3

サステナブル観光推進のため、宿泊税等による安定財源を確保する。

4

ふるさと納税で観光資源を使った返礼品メニューを用意する。



基本戦略に基づくアクションプラン

B 国内市場拡大の観点から **関西圏** からの誘客促進を図る。

1

大阪・関西万博、瀬戸内国際芸術祭2025に合わせ、関西圏を対象とした観光プロモーションを強化する。

2

関西圏からの誘客を促進するために連携協定を結んだ神戸市に加え、姫路市との連携も強化する。

3

関西圏からの陸路を使ったルート（淡路島経由など）を観光コースとして磨き上げPRを強化する。



基本戦略に基づくアクションプラン

C

観光における需要と供給の観点から **冬期** の誘客促進を図る。

1

島の地形・景観を活かした「灯り・光・花火」
「光のドローンショー」などの冬期限定のイベントを実施する。

2

冬期を戦略的キャンプシーズンと設定してキャンプ需要を取り込む。

3

「冬のあつたかグルメ」の魅力アップを図り、
参加事業者を増やして冬の定番商品に磨き上げる。



基本戦略に基づくアクションプラン

D インバウンド需要拡大の観点から **受け入れ体制** の強化を図る。

1

宿泊施設・飲食店・観光施設などに対し
インバウンド教育(語学の強化・ツールの活用など)を実施し、
合わせてインバウンド客に対しては入浴ルールなど啓もう活動を行う。

2

宿泊施設・飲食店・観光施設などに対しwi-fi、キャッシュレス、
洋式トイレ等の普及を促進する。



3

インバウンド客に対応できる有料のプロガイドの育成を行う。

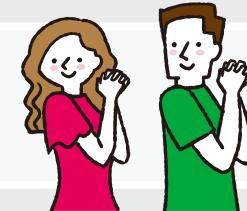


基本戦略に基づくアクションプラン

E 映画・アニメの聖地的観点から **フィルムツーリズム** の強化を図る。

1 フィルムコミッショニング体制の強化を図る。

2 映画・アニメの舞台として聖地巡礼を促進し、聖地にふさわしいイベントやコラボ商品の開発・販売などの事業化を図る。



3 ゲーム、キャラクターなどあらゆるジャンルのオタク文化やマニアな層を獲得する。(イベント誘致や開催)



基本戦略に基づくアクションプラン

F 一次産業と伝統産業の観点から **フードツーリズム** の強化を図る。

1

スローフードをテーマに「醤油」「そうめん」「オリーブ」「佃煮」等島の食品産業、さらに農林水産業との連携を図る。

2

ガストロノミーツーリズムの推進にあたり、料理人の知識・技術向上を目的とした研修などを実施する。



3

小豆島のフードツーリズムを象徴するイベント（グルメフェス）を実施する。

4

飲食店、宿泊施設等に対しふегitarian・ビーガン向けメニュー開発を促進する。



基本戦略に基づくアクションプラン

G

島の地形・景観の観点から **スポーツツーリズム** の強化を図る。

1

島の地形・景観を活かしたマラソン大会や自転車競技の大会、トライアスロン等を誘致する。



2

マリンアクティビティの指導員を育成して体験型プログラムとして商品化を図る。

3

ロッククライミングの指導員を育成して体験型プログラムとして商品化を図る。



H

小豆島ならではの **体験コンテンツ** の強化を図る。

1

日本遺産「石の島」に関わるコンテンツを造成する。

2

「歌舞伎、太鼓、お遍路」といった和文化を体験できるコンテンツを造成する。

3

島の歴史や文化を深堀りし、アートとともに文化観光を推進する。



基本戦略に基づくアクションプラン

J 二次交通対策の観点から **次世代モビリティ** の導入を図る。

1

次世代モビリティ特区（自動運転等）の導入を目指す。

2

エコを意識した自然環境に優しいグリーンモビリティを
港、宿泊施設、主要な観光施設で有料レンタルする。



J **島の遊休施設** 活用の観点から民間投資の促進を図る。

1

誘客の目的（フードツーリズムの顔的存在）となるような
島の食品産業と農林水産業と連携した食の拠点づくりを推進する。

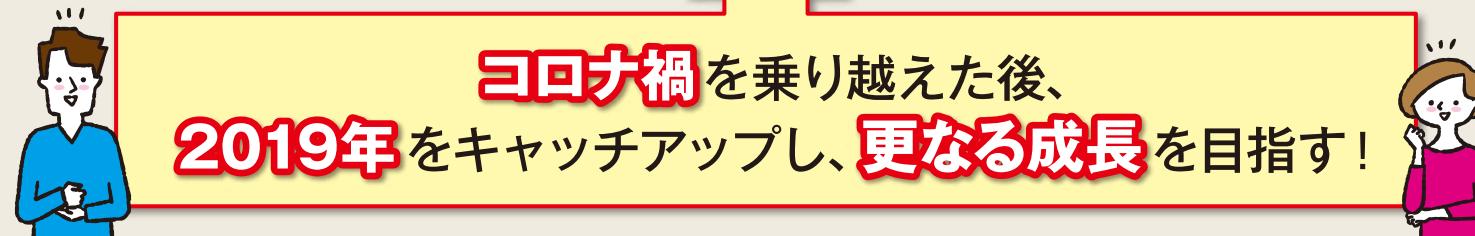
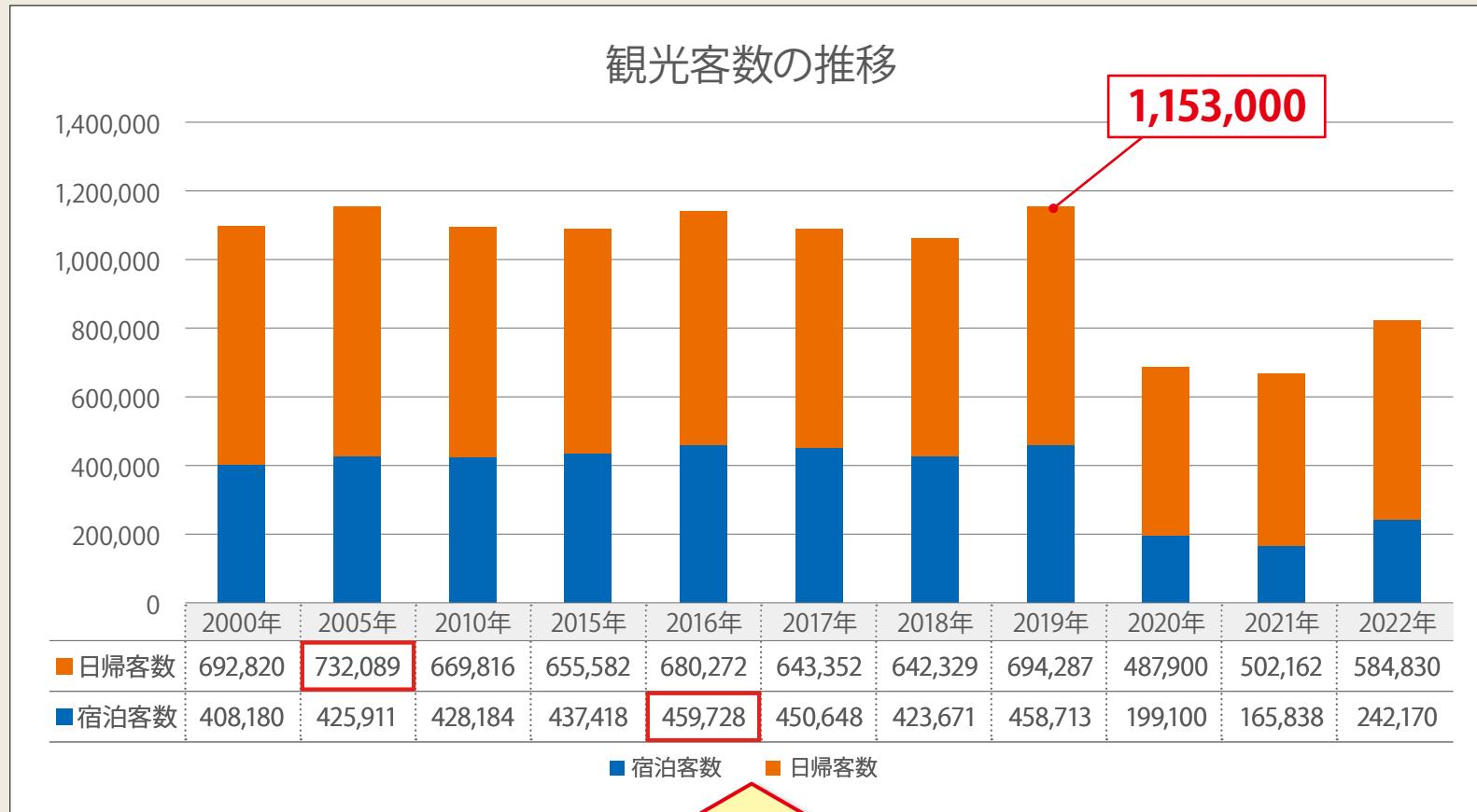
2

若者や長期滞在者向けに空き家等を活用した
民泊やゲストハウス（簡易宿所）建設促進を図る。



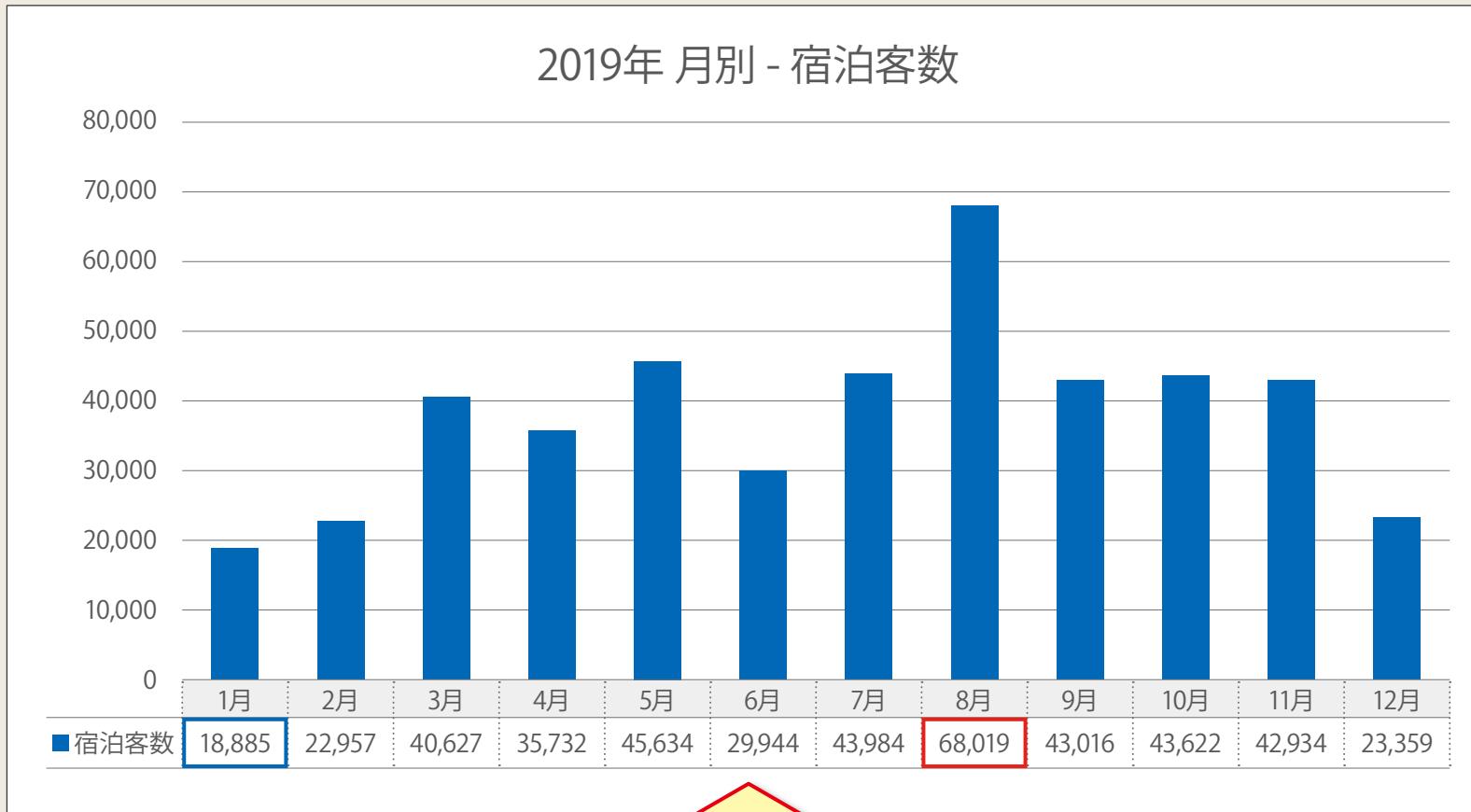
小豆島各港別乗降客調査

2019年に観光客数 **115.3万人** を記録



小豆島宿泊客調査

2019年8月に宿泊客数 **6.8万人** を記録



小豆島各港別乗降客調査

高松港 ⇄ 土庄港 ルートが **49.0%** を占める



じゃらん宿泊旅行調査

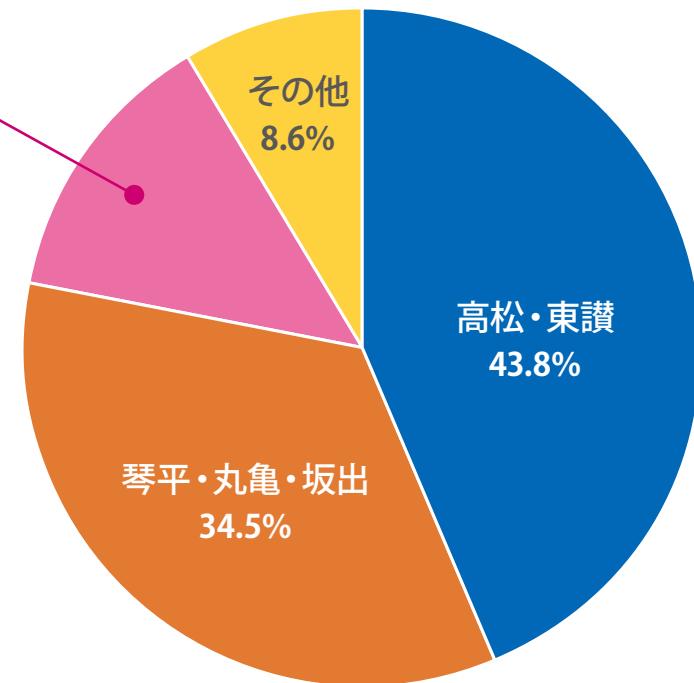
小豆島への来訪状況／来訪経験

香川県の各エリアへの来訪状況

小豆島
13.1%

来訪経験	
初回	69.0%
2回	16.4%
3回	7.4%
4回	2.0%
5～9回	3.1%
10回以上	2.1%

リピート率が低い



じゃらん宿泊旅行調査

小豆島への来訪者プロフィールなど

性別		同行者		人数		宿泊数	
男性	50.1%	夫婦	24.2%	1人	0.0%	1泊	44.2%
女性	49.9%	恋人	2.6%	2人	36.4%	2泊	40.8%
年齢		親	19.2%	3人	28.7%	3泊以上	15.0%
20~34歳	13.5%	小学生以下	11.1%	4人	21.2%	2泊以上は他地域の宿泊を含む	
35~49歳	24.5%	中学生以上	6.8%	5人	7.4%	宿泊手配方法	
50~79歳	62.0%	その他家族	8.5%	6人以上	7.3%	自分	66.6%
		友人	25.2%			旅行会社	13.9%
		団体	1.6%			パック旅行	19.5%
		その他家族	0.9%			2022年は73.3%に上昇	
宿泊旅行の実施時期							
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
5.3%	9.1%	9.8%	9.8%	13.8%	12.4%	6.0%	14.4%
12月	1月	2月	3月				
小豆島		~8時台	9時~10時台	11時~12時台	13時~14時台	15時~16時台	17時~18時台
到着した時間		—	18.0%	29.4%	24.0%	28.5%	—
出発した時間		1.6%	23.7%	10.2%	19.7%	20.0%	10.9%
19時~20時台		21時~22時台	23時以降				



じゃらん宿泊旅行調査

小豆島旅行の目的・理由・行動・評価など

宿泊旅行の行き先を選んだ理由

- | | |
|-----------------|-------|
| 1. 特定のスポットに興味あり | 93.2% |
| 2. 食・特産品に興味あり | 63.6% |
| 3. 良い宿泊施設があった | 59.9% |
| 4. 家族・知人の薦めがあった | 40.4% |
| 5. イベントやアクティビティ | 37.6% |

小豆島で実施した全ての行動

- | | |
|--------------------|-------|
| 1. 朝食を食べる | 92.6% |
| 2. 夕食を食べる | 85.7% |
| 3. 直売所等での買い物 | 85.4% |
| 4. 昼食を食べる | 84.7% |
| 5. 喫茶・スイーツを食べる | 55.5% |
| 6. 観光施設に行く・遊ぶ | 35.1% |
| 7. スポーツ観戦・コンサート・祭り | 12.9% |
| ※ 各種体験プログラムなど | 21.2% |

小豆島への宿泊旅行の目的

- | | |
|------------------|-------|
| 1. 地元の美味しいものを食べる | 63.0% |
| 2. 名所・旧跡の観光 | 57.5% |
| 3. 宿でのんびり過ごす | 49.8% |
| 4. まち歩き・都市散策 | 48.3% |
| 5. 温泉や露天風呂 | 34.0% |

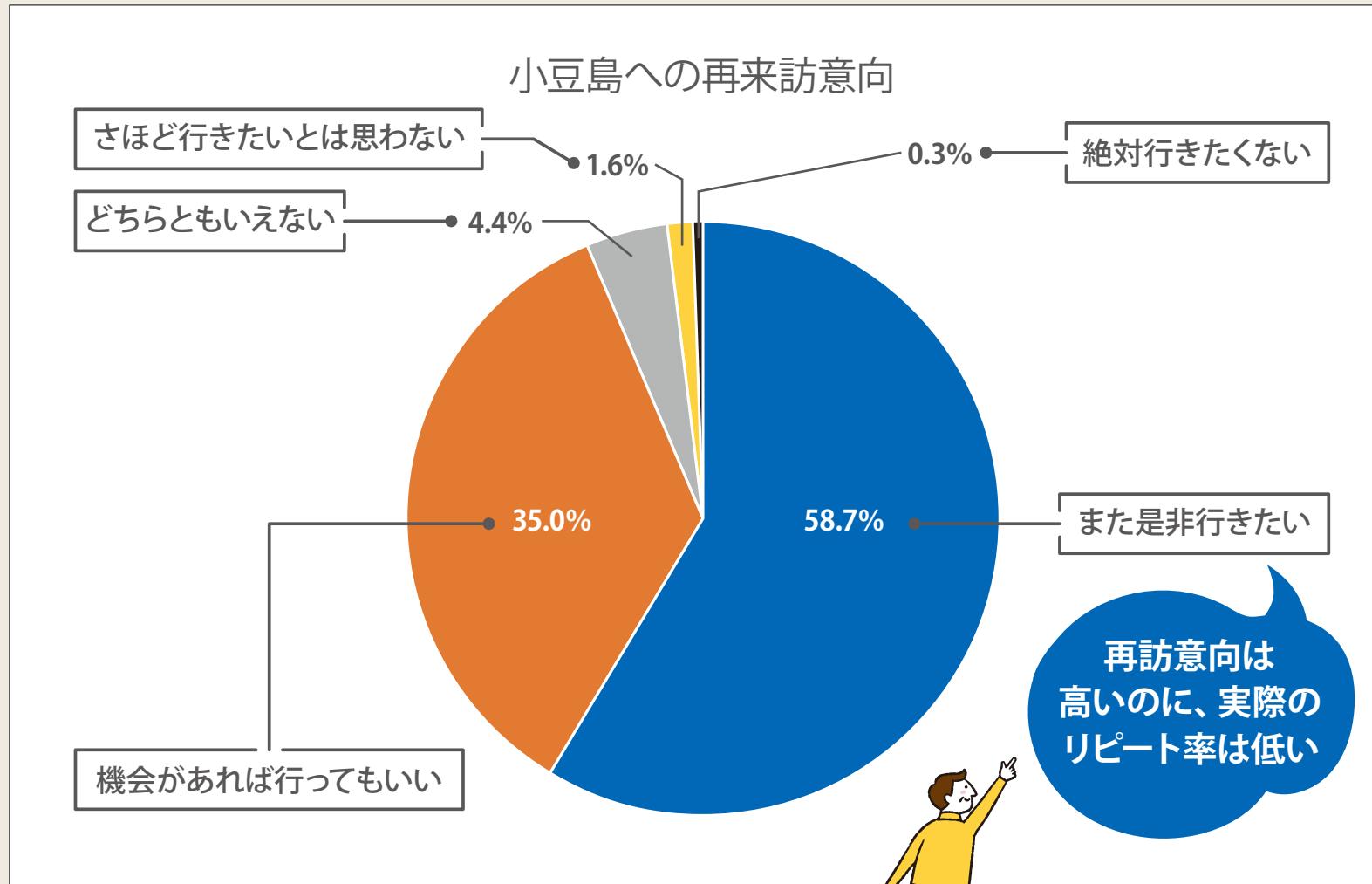
小豆島への宿泊旅行の評価・満足

- | | |
|-----------------|-------|
| 1. 地元ならではの美味しい食 | 79.5% |
| 2. 魅力ある特産品・土産物 | 79.2% |
| 3. 魅力的な宿泊施設 | 59.9% |
| 4. 大人が楽しめることが多い | 55.7% |
| 5. 現地で良い情報が得られた | 49.2% |



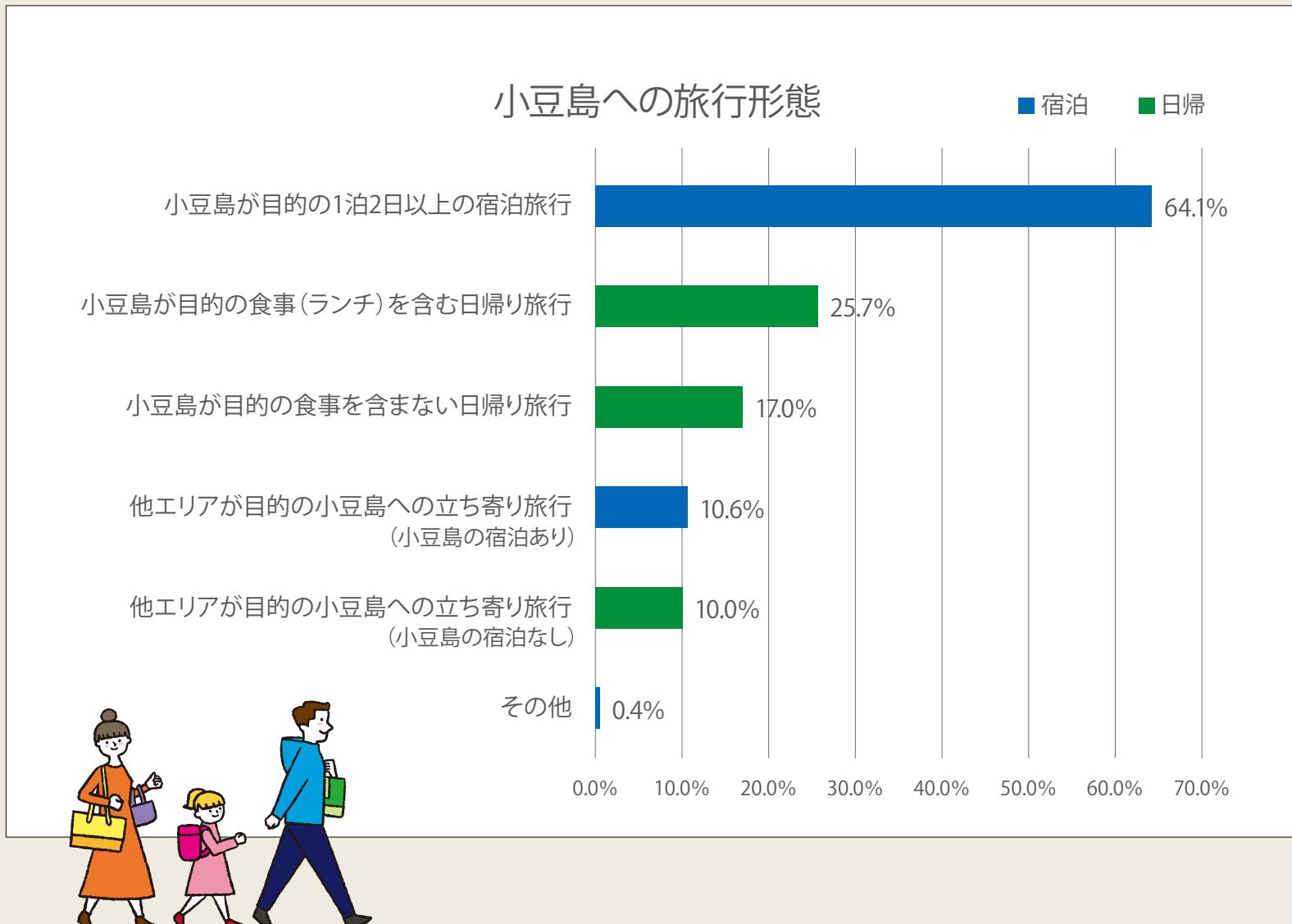
GAP調査

小豆島への観光に対する再来訪意向



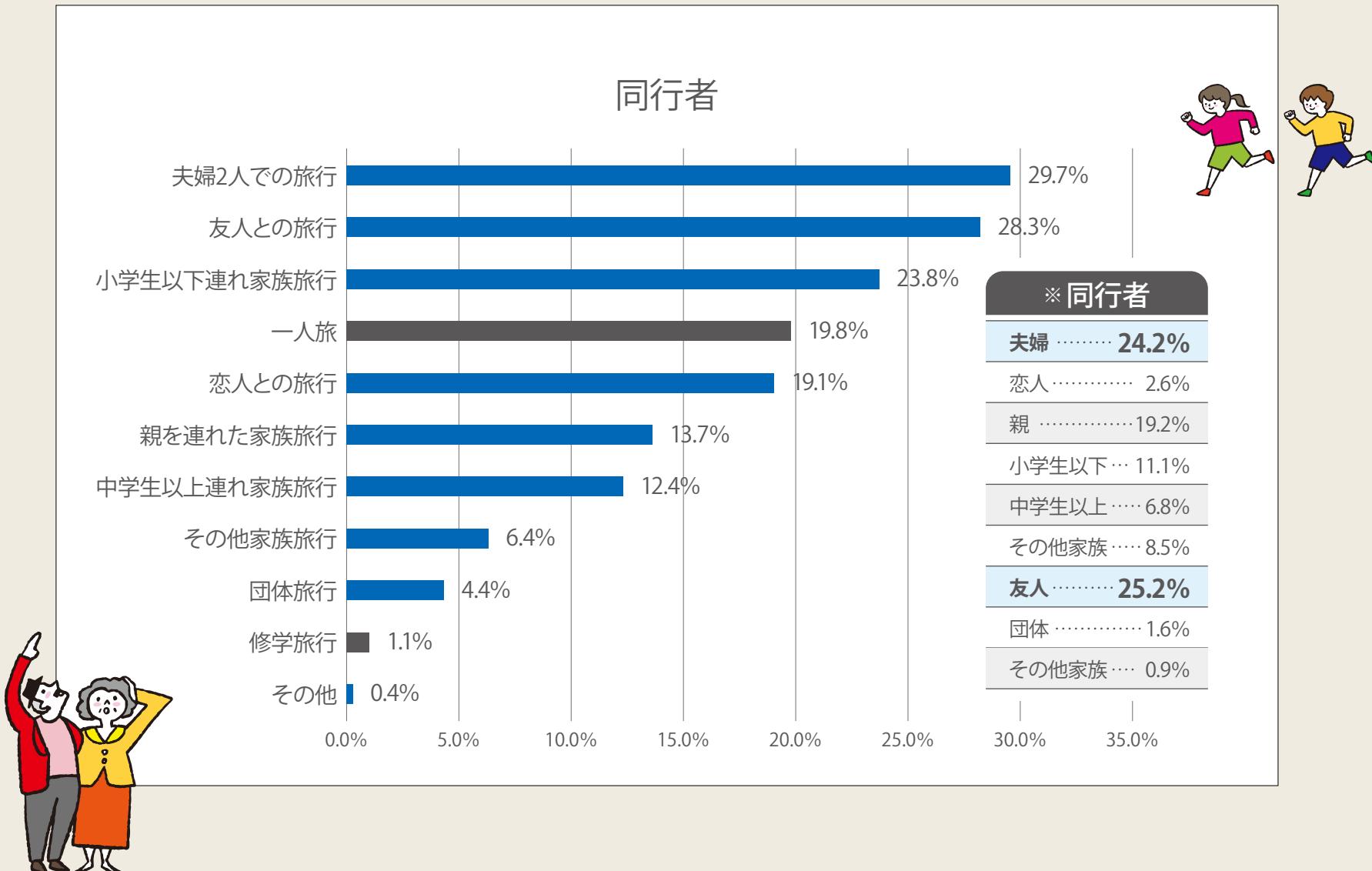
GAP調査

小豆島への旅行形態



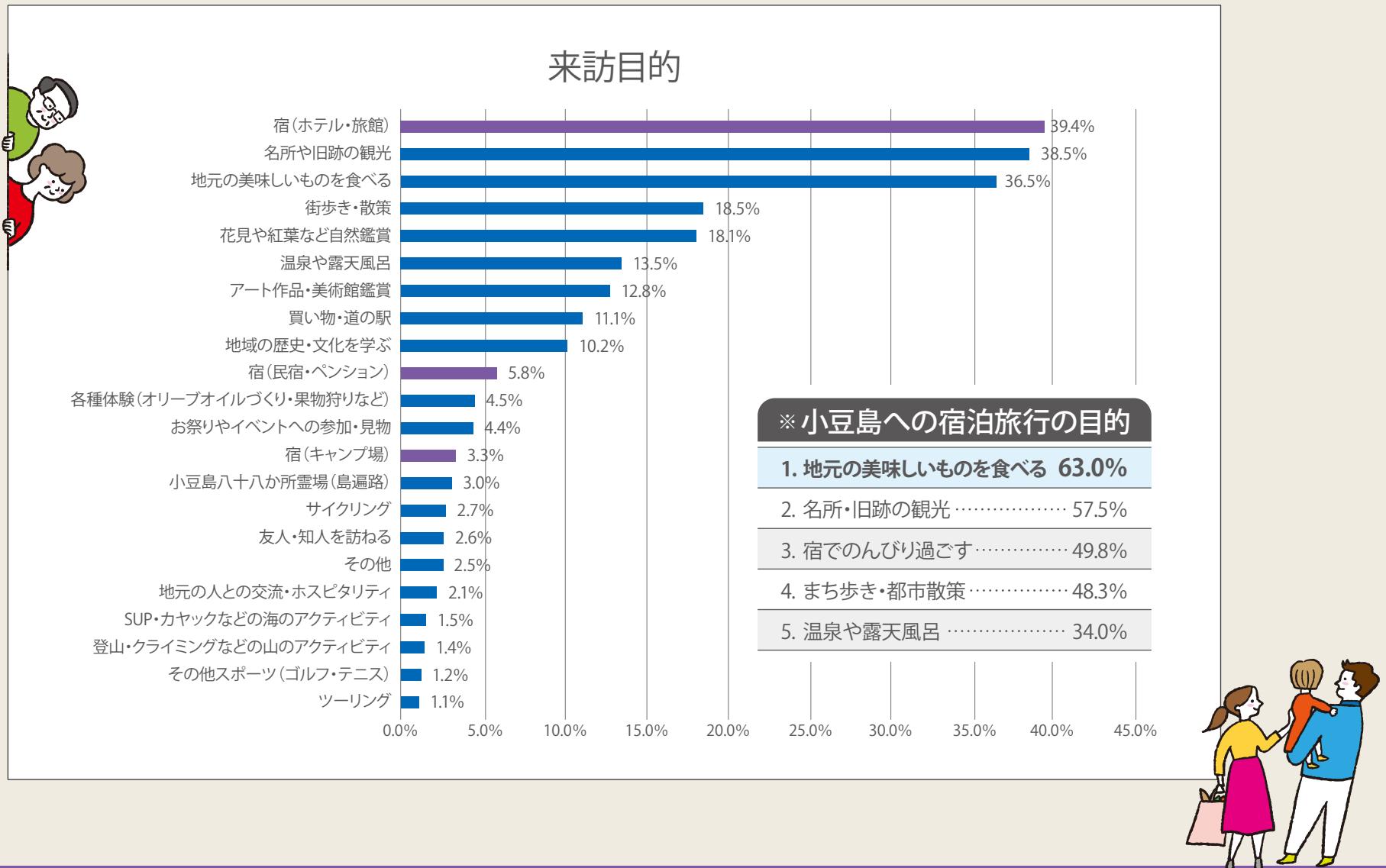
GAP調査

小豆島への旅行における同行者



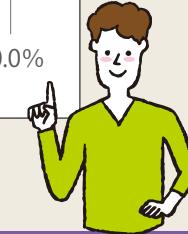
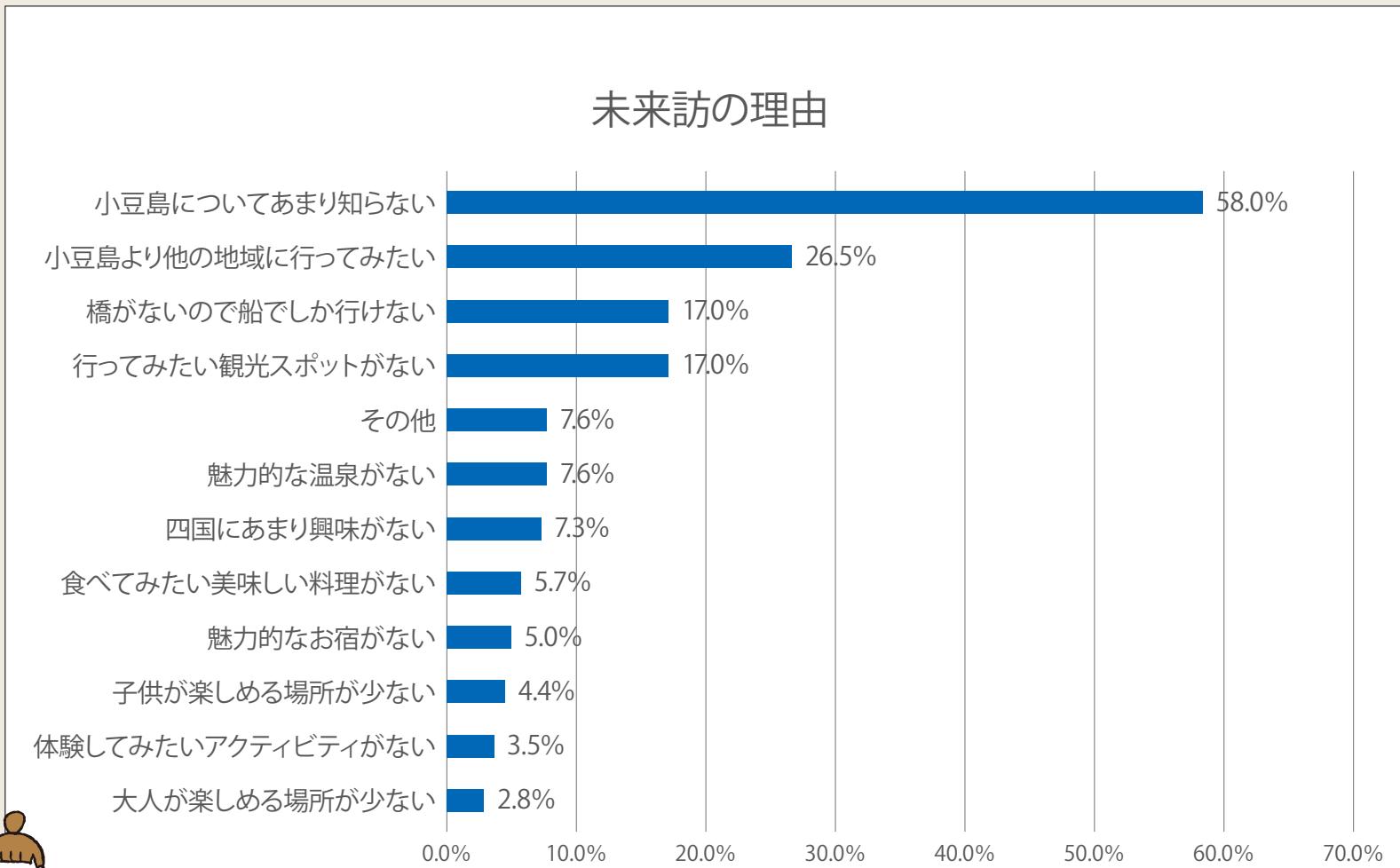
GAP調査

小豆島の観光における来訪目的について



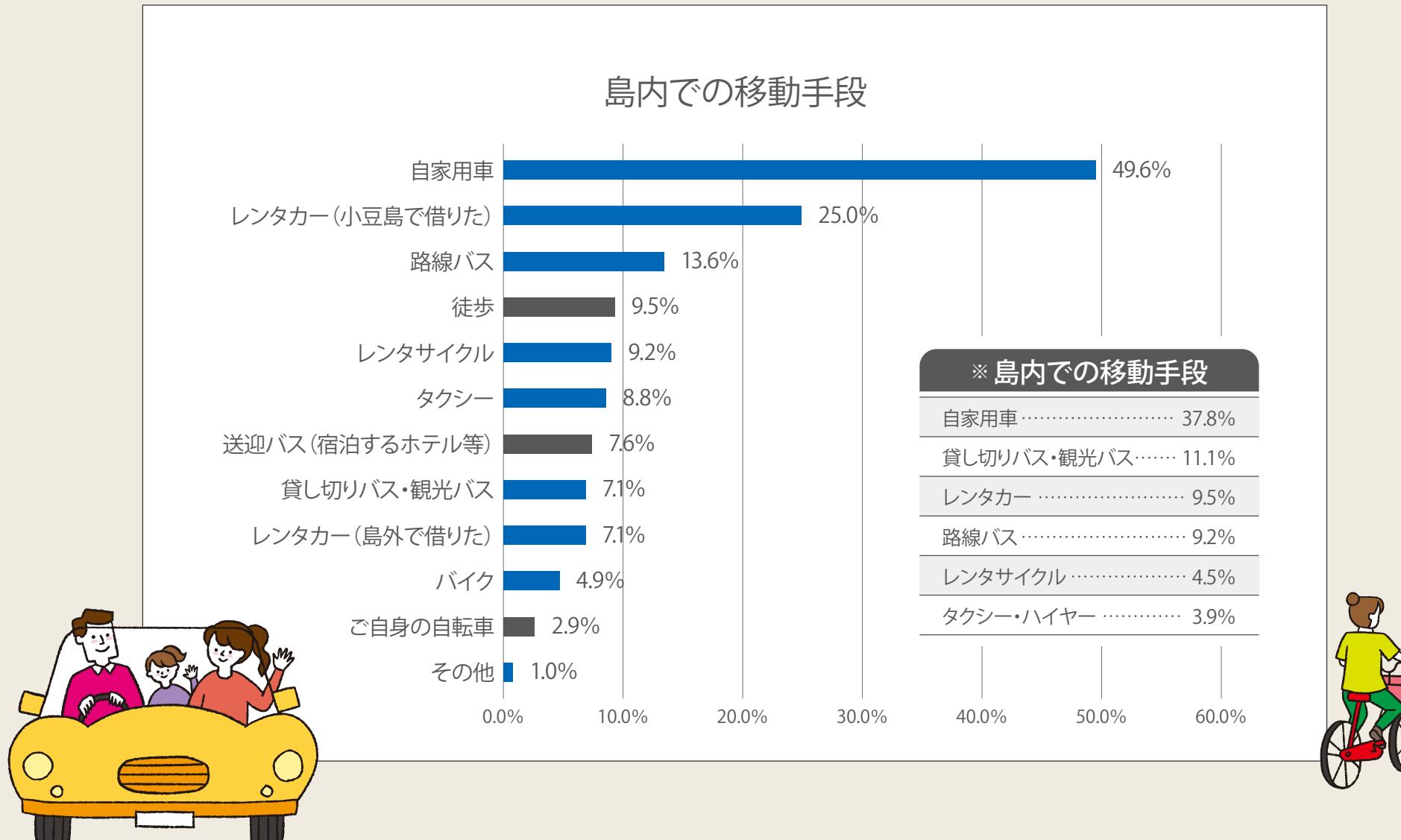
GAP調査

小豆島の観光に対する未来訪の理由



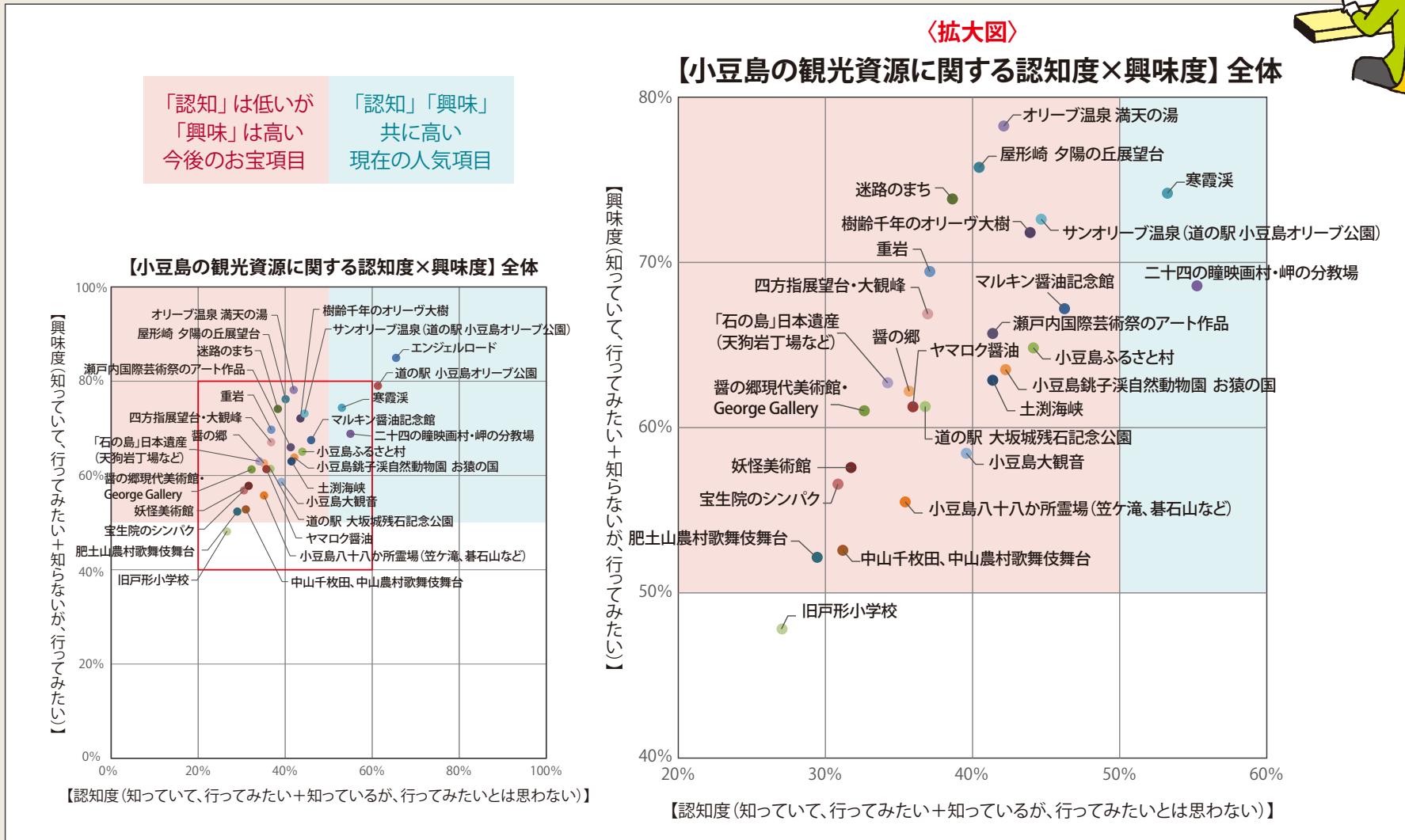
GAP調査

小豆島の観光における島内の移動手段



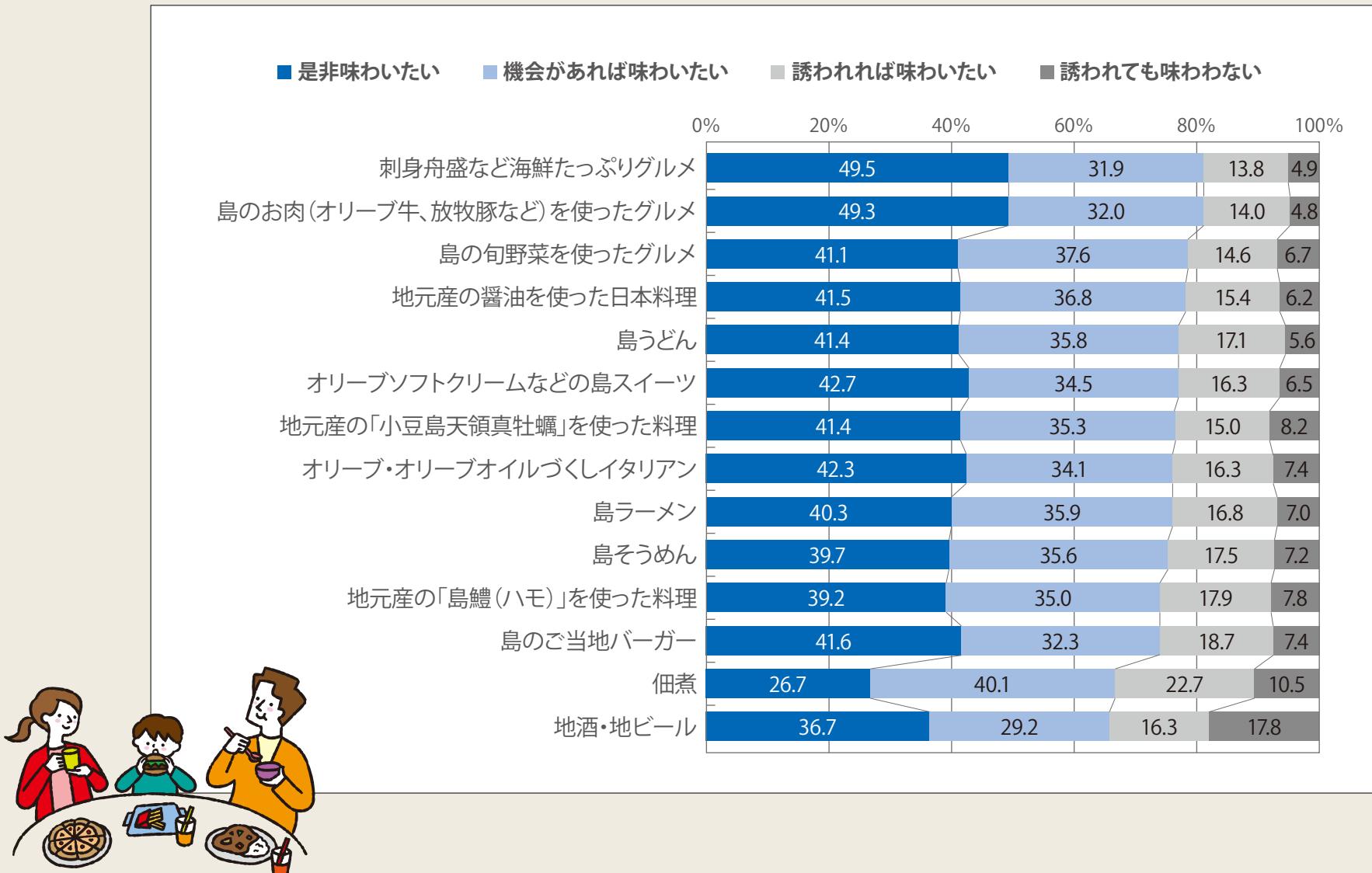
GAP調査

小豆島の観光資源／認知度×興味度



GAP調査

小豆島の食資源／来訪目的になるもの



小豆島観光ビジョン策定までの流れ

策定委員会委員一覧

小豆島観光協会 会長	堀川 満弘
香川県観光協会 専務理事	佐藤 今日子
四国ツーリズム創造機構 事業推進本部 本部長	桑村 琢
香川大学 副学長	原 直行
土庄町商工観光課 課長	蓮池 幹生
小豆島町商工観光課 課長	相原 隆幸

作業部会参加者一覧

佐伯 哲	中村 彰紀	下本 一彦
原田 幸恵	坂本 良英	永井 順也
岡本 隆寛	佐伯 紀彦	伊藤 雄二
森本 正樹	北川 晶穂	須浪 智子
義川 沙也佳	大森 俊三	大塚 一歩
今里 肇	須田 英太郎	谷崎 友紀
中黒 哲也	調 美紅	三枝 晃
真渡 康之	佐藤 秀司	中岡 恵麻
中野 菜見	石井 純	山本 紘嗣
三浦 崇寛	吉野 一伸	仲 啓太
田中 久美子	須藤 謙栄	片岡 琴未

(順不同)

会議スケジュール

▶全4回の作業部会・ワークショップについて

日時	第1回	第2回	第3回	第4回
目的	8月31日(木) 13時00分～15時00分 現状と課題を把握する ▼ 強みと弱みを整理する 機会と脅威を整理する	9月13日(水) 13時00分～15時00分 基本戦略を考える ▼ クロスSWOT分析による 基本戦略の検討	9月25日(月) 10時30分～12時00分 アクションプランを考える ▼ 各基本戦略を 実現するために必要な アクションプランを検討	11月9日(木) 13時00分～15時00分 小豆島観光ビジョン を確認する ▼ アクションプランを 自分事で考える
作業部会の内容	◆オリエンテーション ・主催者あいさつ ・事業目的の確認 ・事業概要の説明 ◆調査報告 ・小豆島各港別乗降客等調査表 ・じゃらん宿泊旅行調査2020 ・GAP調査／口コミ調査 ◆ワーキング ・小豆島の観光における強み と弱みを整理する ・小豆島の観光における機会 と脅威を整理する ・クロスSWOT分析による基 本戦略の導き方を学ぶ ▼ 策定委員会へ報告	◆第1回の振り返り ・作業部会の確認 ・策定委員会の報告 ◆ワーキング ・クロスSWOT分析の報告 ► 事務局案を説明する ・基本戦略の候補選出 ・基本戦略の優先順位付け ► Will・Can・Mustの観点で 考える ▼ 策定委員会へ報告	◆第2回の振り返り ・作業部会の確認 ・策定委員会の報告 ◆ワーキング ・各基本戦略に沿ったアクシ ョンプランの候補選出 ・アクションプランの優先順位 付け ► Will・Can・Mustの観点で 考える ▼ 策定委員会へ報告 ▼ 小豆島観光ビジョンの 策定作業開始 (事務局作業)	◆両町長への報告を終えて ・基本戦略 ・アクションプラン ◆ワーキング ・キャッチコピーを考える ・自分で取り組んでみたい アクションプランを選出する

▶策定委員会の日程

第1回	9月 1日 (金)	午前10時～12時
第2回	9月14日 (木)	午前10時～12時
第3回	9月25日 (月)	午後3時～5時
第4回	11月10日 (金)	午前10時～12時





土庄町・小豆島町

2024年1月30日策定

問い合わせ・事務局

一般社団法人 小豆島観光協会 〒761-4434 香川県小豆郡小豆島町西村甲1896-1SS
TEL:0879-82-1775 FAX:0879-82-1801 MAIL:pr@shodoshima.or.jp